

JAグループ広島 営農通信

2020年

冬号

全農提供ラジオ番組のご紹介

**TODAY'S
AGRI NEWS**
EVERY Mon-Fri AM 6:30-6:35

- <https://www.tfm.co.jp/agrinews/>
●放送日：毎週月曜～金曜日 6:30～6:35
(広島FM)
●パーソナリティ：月～木 鈴木健一さん
金 山崎樹範さん

**ZEN-NOH
COUNTDOWN JAPAN**

- <https://www.tfm.co.jp/cdj/>
●放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送
(広島FM)
●パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん
安田レイさん

あぐりずむ
ニッポン！イタダきます紀行

- <https://www.tfm.co.jp/itadakimasu/>
●放送日：毎週木曜日 6:15～6:25
(広島FM)
●パーソナリティ：川瀬良子さん

～全国FM38局で放送中～

 **JAグループ広島**

JA全農ひろしまホームページ


<https://www.jazhr.jp>

 **JA全農ひろしま**



JAグループ広島の
「営農基礎研修」の一環で行われた
「スマート農業機械」の実習風景

◆ 米穀情報

- ①米の需給動向
- ②「需要に応じた米の計画生産」による「契約取引の拡大」の取り組み

◆ 園芸情報

- ①生産振興の取り組み
- ②青果物の販売経過および情勢

◆ 営農支援情報

「令和2年度JAグループ担い手アグリサミット」開催結果と動画公開

◆ 肥料・農薬情報

水稻栽培における課題解決に向けて～担い手アグリサミットで情報発信～

◆ 農業機械情報

共同購入トラクタの取り組みについて

米穀情報

① 米の需給動向

農林水産省は、令和2年産水稻の全国の作況指数を99の「平年並み」で確定したと発表しました。

また、11月5日の食糧部会では、基本指針の見直しが行われ、令和3年産米の適正生産量は前回の基本指針679万トンから693万トンに上方修正されたものの、需給均衡には、令和2年産米の予想収穫量から過去最大規模となる30万トン以上の減産が必要な状況となっています。

【主食用米等の需給見通し(速報値)(農林水産省の資料を基に作成)】

項目		10/16食糧部会 農水省基本指針 9/15作柄反映後	11/5食糧部会 農水省基本指針 10/15作柄反映後
令和2 /3 年	令和2年6月末民間在庫量	A	201
	令和2年産主食用米等生産量	B	735
	令和2/3年主食用米等供給量計	C = A + B	936
	令和2/3年主食用米等需要量	D	709~715
	令和3年6月末民間在庫量	E = C - D	221~227
令和3 /4 年	令和3年6月末民間在庫量	E	221~227
	令和3年産主食用米等生産量	F	679
	令和3/4年主食用米等供給量計	G = F + F	900~906
	令和3/4年主食用米等需要量	H	704
	令和4年6月末民間在庫量	I = G - H	196~204

※令和2/3年産主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向等によって、今後、変動する可能性がある。

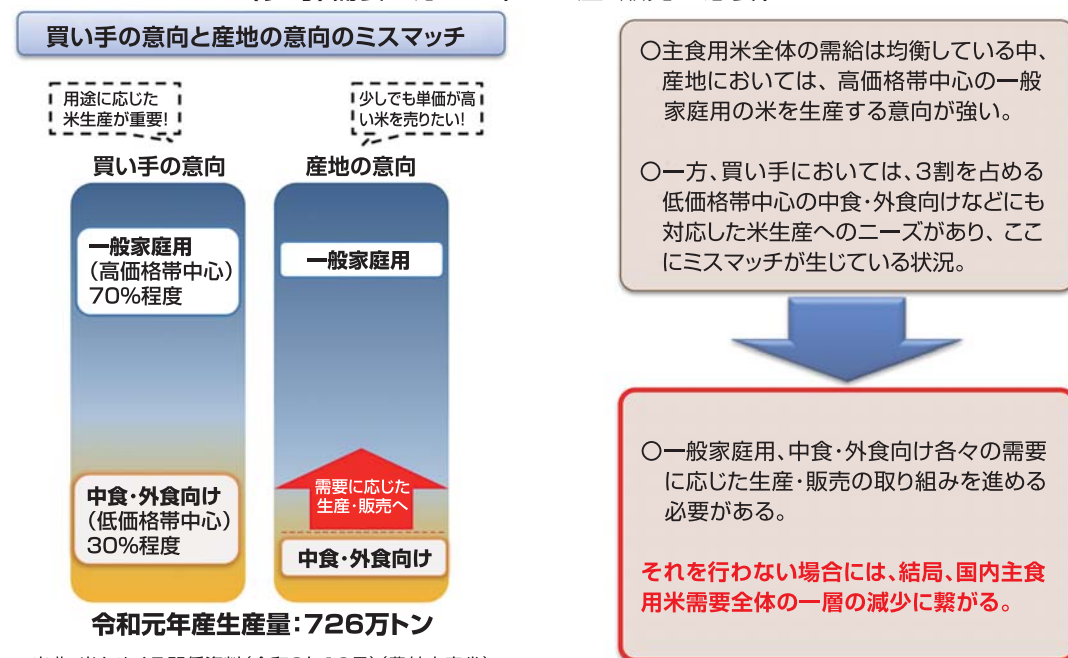
※ラウンドの関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

30万トン以上
減産必要

こうした先行き不透明な情勢にあって重要なことは「広島米の契約販売先を維持確保すること」です。米の需給環境が不安定さを増すなか、販売先を明確にした契約取引の拡大が重要になります。

今後とも、JAグループ一体となり需要に応じた米の計画生産の取り組みを継続するとともに、県産米のブランド化や有利販売に資する取り組みを強化するなど、生産から販売までを確実に結び付ける契約取引を拡大し、農業経営の安定につなげます。

(参考)需要に応じた米の生産・販売の必要性



② JAグループ広島の「需要に応じた米の計画生産」による「契約取引の拡大」事例

(1) 生産地と消費地を結ぶ「JAの結び米」の取り組み

産地・地域の特徴や生産者の特色ある取り組みや“こだわり”を商品化し、生協・量販店等と連携することで生産者と消費者の結び付けを強化します。



(2) 3-R(さん・あー)ブランド商品の展開

「SDGs」(持続可能な開発目標)に向けた活動の一環として、耕畜連携資源循環ブランド「3-R商品」の開発・販売を行います。

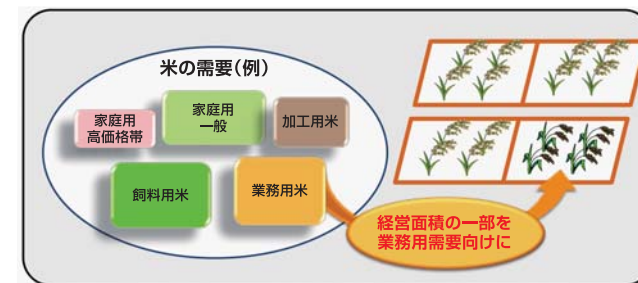


(3) 業務用実需者向け契約栽培

業務用の安定取引が見込める販売先をJAグループ広島で事前に確保し、「固定価格」で「多収性品種」の「多収栽培」を「複数年契約」で行っていただく取り組みです。

この取り組みを経営面積の一部に取り入れ、多収を実現することで中長期的に安定した面積当たりの収入確保を実現できます。

本取り組みについては、現在、実施3年目を迎えており、令和3年産からは新たな条件での契約栽培を開始いたします。



H30年産実績 561㍥ 120ha	R元年産実績 1,009㍥ 169ha	R2年産見込み 2,000㍥ 333ha	R3年産～目標 3,000㍥ 500ha
「現在の」複数年契約(H30～R2) 「あきだわら」など			「新たな」複数年契約 対象品種拡大
試験栽培	試験栽培	試験栽培	

(4) 飼料用米

広島県は全国でも有数の養鶏産地であり、JAグループ広島では養鶏業者に向けた飼料用米の販売を行っています。水稻生産者に、水田活用の直接支払交付金を活用いただくことと併せ、交付金の最大収受のため、専用品種等の導入等により収量を確保することで更なる安定収入につなげる取り組みです。

■ JA全農ひろしまホームページ <https://www.jazhr.jp/>
※トップページから、「広島の農畜産物」⇒「広島のお米」とひろしま米 検索

● 3-R 広島こめたまご



JA全農ひろしまは、今後も広島県内の
お米や産地の魅力を発信していきます。

〈お問合せ先〉米穀総合課／塚本:TEL.082-431-5450
米穀販売課／山口:TEL.082-431-3000

園芸情報

① 生産振興の取り組み

■機械化一貫体系の取り組み

「広島県園芸振興協会」(事務局:JA全農ひろしま園芸課)では、県内の重点品目を中心に様々な手法で生産振興を図っています。今年度は、コロナウイルスの影響で、一部視察や研修会などの開催を中止しましたが、10月28日・29日に開催された「令和2年度JAグループ担い手アグリサミット」では、ほうれんそう等軟弱野菜およびえだまめの機械化一貫体系を紹介しました。ほうれんそうについては、過去には先進地である岐阜県への視察研修を開催したり、えだまめについては機械化一貫体系の現地検討会や、生産量が多く、取り扱いも多い全農新潟県本部との情報交換会(web会議)を開催し、今後の本格的な生産拡大に向けた準備をしています。

【現地検討会の様子】



写真1: ほうれんそう収穫機実演



写真2: えだまめ収穫機実演

■作業労力軽減の取り組み

生産振興が伸び悩む原因として、出荷調整作業にかかる労力が挙げられます。このため、産地に対してコンテナ出荷やバラ出荷を提案しています。現在は一部のブロッコリーや白ねぎの取り組みですが、段ボールの組立てや、白ねぎにおいては結束にかかる時間を軽減することで出荷数量の増加や生産面積の拡大が可能となります。ただし、現在のところ、コンテナやバラの状態での出荷ができる販売先が限られていますので、いかに販売先を広げていくかが今後の課題となります。



写真3: ブロッコリーのコンテナ出荷



写真4: 白ねぎのバラ出荷

② 青果物の販売経過および情勢

◆青果物 令和2年 11月までの販売経過

※金額は全て税抜

2020年(令和2年)8月は、猛暑や日照不足の影響により出荷量が例年と比べて少なく、また、コロナウイルスの影響による需要増もあり、各品目とも単価高で推移しました。9月に入ると徐々に生育も回復し出荷量は前年並みとなり、10月は好天・程度な雨が続いたため、前年を超える出荷量となりました。11月も好天が続いたため、単月の出荷量は前年比115%、単価は83%と、数量増の単価安で推移しました。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い(令和2年11月末累計)のうち、卸売市場仕向けについては、家庭内需要の高まり等による単価高が続き、出荷重量9,736t(前年比102%)、販売金額3,303百万円(同106%)、単価は339円/kg(同104%)で推移しています。

■JA全農ひろしまの販売状況(令和2年4月～11月累計)

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
野菜合計	10,006	102%	3,456,289	106%	345	104%
トマト	2,579	104%	814,114	112%	315	108%
青ねぎ	1,117	90%	657,392	95%	589	108%
アスパラガス	263	83%	296,985	85%	1,130	102%
小松菜	932	125%	252,641	131%	271	105%
ほうれんそう	410	97%	230,402	106%	562	110%
きゅうり	627	97%	167,109	112%	266	116%
ばれいしょ	168	142%	54,615	290%	325	204%
ミニとまと	163	90%	99,022	91%	607	101%
だいこん	1,173	93%	104,890	110%	89	119%
キャベツ	979	132%	69,273	147%	70	111%
わけぎ	145	94%	98,828	92%	682	98%
なす	208	99%	62,637	125%	301	127%
豌豆	51	106%	47,711	105%	930	99%
青梗菜	153	113%	49,645	116%	324	102%
ジャンボピーマン	99	88%	35,212	118%	355	133%
その他葉茎菜類	116	94%	44,109	104%	381	111%
南瓜	65	61%	14,112	93%	216	153%
白ねぎ	108	157%	37,392	162%	347	104%
その他	183	88%	320,200	95%	493	106%

※JA全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課／^{かんた}神田:TEL.082-846-4708

◆11月単月の概況

【数量】

- 品目では、小松菜（147％）、キャベツ（136％）、ほうれんそう（121％）は、前年の11月単月を大きく上回る出荷数量でした。 ※（ ）は前年比。
- 11月単月の出荷量は前年と比較し、186トン増加し、前年比102％で推移しました。キャベツ・小松菜の数量が増加したことが主な要因です。
- 11月は連続した好天や適度な降雨があり、作物が順調に生育したため数量が増加しました。

【金額・単価】

- 11月単月の単価については、主に小松菜や青ねぎ、一部葉茎菜類で前年を下回ったため、全体の平均単価は285円/kgとなり、前月の344円/kgよりも下がり、前年対比では83％で推移しました。
- 11月単月の販売金額は359百万円（前年比94％）となりました。
- 主にコロナウイルスの影響による需要増により高単価で推移してきましたが、影響の落ち着きと好調な作物の出荷が相まって、単価安で推移しています。

◆12月の見通し

(1) 入荷量の見通し

- 12月の指定野菜（15品目）の入荷量は、平年を下回る水準と見込まれます。
- 「平年を上回る」と見込まれるのは、レタス、トマトの2品目です。
- 「平年を下回る」と見込まれるのは、にんじん、はくさい、ほうれんそう、青ねぎ、白ねぎ、ピーマン、ばれいしょ、さといも、たまねぎの9品目です。
- 「平年並み」と見込まれるのは、だいこん、キャベツ、きゅうり、なすの4品目です。

(2) 卸売価格の見通し

- 12月の指定野菜（15品目）の卸売価格は、平年を下回る水準と見込まれます。
- 「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、青ねぎ、レタス、トマト、ピーマン、ばれいしょ、さといも、たまねぎの12品です。
- 「平年並み」と見込まれるのは、白ねぎ、きゅうり、なすの3品目です。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し（12月）

品目	入 荷 量			卸 売 価 格			（参考）前年12月の主産地シェア（％）
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	ㇿ	=	=	ㇿ	=	ㇿ	長崎(75)、福岡(15)
にんじん	ㇿ	=	ㇿ	=	=	ㇿ	長崎(58)、熊本(28)、香川(12)
はくさい	=	=	ㇿ	ㇿ	=	ㇿ	大分(48)、熊本(18)、岡山(14)、鹿児島(7)、
キャベツ	ㇿ	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	愛知(26)、福岡(21)、熊本(16)、宮崎(10)
ほうれんそう	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	=	ㇿ	広島(46)、福岡(39)、熊本(7)
青ねぎ	=	=	ㇿ	=	=	ㇿ	広島(68)、大分(9)、愛媛(7)
白ねぎ	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	=	=	鳥取(48)、広島(30)、島根(12)
レタス	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	ㇿ	長崎(51)、福岡(23)、香川(14)、熊本(9)
きゅうり	=	=	=	ㇿ	=	=	宮崎(34)、熊本(19)、佐賀(15)、広島(11)
なす	ㇿ	=	=	=	=	=	福岡(72)、佐賀(16)、熊本(6)
トマト(ミニトマトを除く)	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	ㇿ	熊本(78)、宮崎(9)、島根(8)
ピーマン	ㇿ	ㇿ	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	鹿児島(34)、宮崎(32)、輸入(14)、高知(13)
ばれいしょ	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	ㇿ	北海道(92)、長崎(7)
さといも	ㇿ	=	ㇿ	=	ㇿ	ㇿ	愛媛(82)、宮崎(7)
たまねぎ	ㇿ	ㇿ	ㇿ	ㇿ	=	ㇿ	北海道(98)
計	=	=	ㇿ	=	=	ㇿ	

注：「平年」とは、過去5か年の平均値。
※この資料の内容は、令和2年11月25日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。
※主要野菜の入荷量及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和2年11月30日中四国農政局園芸特産課の発表内容による。

（参考）広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移 単位：トン

品 目	9月上旬		9月中旬		9月下旬		10月上旬		10月中旬		10月下旬		11月上旬		11月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	283	85%	321	90%	317	78%	428	101%	382	87%	444	105%	403	105%	465	97%
にんじん	194	93%	204	102%	189	84%	212	92%	194	86%	269	113%	251	118%	240	101%
はくさい	176	79%	269	95%	328	98%	407	108%	374	78%	499	101%	436	99%	372	83%
キャベツ	407	80%	469	93%	452	87%	562	110%	503	87%	573	101%	462	91%	485	94%
ほうれんそう	10	67%	12	64%	12	52%	35	127%	36	101%	49	102%	41	94%	47	107%
青ねぎ	34	68%	48	84%	53	97%	69	136%	60	107%	55	103%	40	101%	36	89%
白ねぎ	24	82%	26	78%	24	67%	35	86%	34	74%	58	94%	62	99%	73	111%
レタス	291	118%	273	122%	218	96%	210	108%	191	97%	314	150%	235	117%	234	123%
きゅうり	169	93%	132	74%	121	72%	161	111%	148	101%	144	92%	148	107%	151	97%
なす	81	102%	44	61%	39	66%	48	90%	45	82%	45	73%	46	90%	51	94%
トマト（ミニトマトを除く）	140	134%	107	88%	82	84%	96	91%	100	95%	88	86%	85	100%	102	113%
ミニトマト	55	126%	52	135%	37	95%	48	128%	37	94%	48	109%	47	133%	50	121%
ピーマン	42	96%	38	85%	30	67%	36	93%	39	99%	35	76%	46	102%	42	100%
ばれいしょ	274	119%	266	104%	238	96%	274	106%	263	107%	209	82%	228	95%	183	74%
さといも	6	43%	17	64%	20	76%	26	99%	21	81%	25	84%	20	81%	24	101%
たまねぎ	441	97%	471	102%	386	76%	625	133%	487	95%	591	105%	561	135%	449	97%

資料：「広島市中央卸売市場日報」
注：平年比70％以下及び130％以上の数値に色を付けています。

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん} ^だ 神田：TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品 目	9月上旬		9月中旬		9月下旬		10月上旬		10月中旬		10月下旬		11月上旬		11月中旬	
	前月比	平年比	前月比	平年比	前月比	平年比	前月比	平年比	前月比	平年比	前月比	平年比	前月比	平年比	前月比	平年比
だいこん	122	108%	99	87%	111	107%	113	107%	94	93%	101	87%	82	80%	56	68%
にんじん	112	65%	116	58%	136	71%	141	80%	132	74%	132	76%	141	72%	141	85%
はくさい	123	98%	90	69%	101	93%	96	90%	75	80%	65	67%	50	51%	45	48%
キャベツ	160	152%	113	93%	109	100%	93	79%	102	85%	81	67%	82	62%	73	69%
ほうれんそう	1,156	105%	1,195	126%	1,096	144%	821	109%	668	96%	580	95%	477	78%	492	90%
青ねぎ	835	130%	791	121%	738	110%	678	99%	605	88%	598	88%	568	82%	545	81%
白ねぎ	351	87%	400	94%	507	121%	480	113%	494	119%	479	115%	445	109%	387	97%
レタス	128	56%	118	47%	149	69%	159	63%	154	75%	102	53%	95	47%	95	54%
きゅうり	345	83%	428	120%	460	142%	357	106%	343	89%	405	94%	313	79%	275	86%
なす	310	92%	436	119%	522	143%	469	122%	433	109%	459	107%	457	104%	403	94%
トマト(ミニトマトを除く)	367	80%	346	79%	454	108%	502	118%	459	121%	406	104%	476	125%	348	99%
ミニトマト	676	77%	676	68%	749	80%	991	109%	1,028	124%	853	105%	793	103%	687	101%
ピーマン	529	110%	598	112%	634	139%	669	155%	553	115%	526	113%	482	107%	398	99%
ばれいしょ	131	89%	121	92%	126	105%	128	113%	133	116%	147	128%	150	131%	149	130%
さといも	355	102%	332	92%	311	97%	307	101%	303	105%	270	97%	231	90%	239	91%
たまねぎ	81	76%	80	81%	77	89%	75	89%	72	88%	68	84%	70	87%	68	85%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

月別の天候 【令和2年11月25日】気象庁発表「向こう3か月の見通し」

12月	・北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 ・北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 ・東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 ・西日本日本海側では、低気圧の影響を受けにくいので、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 ・東・西日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいので、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 ・沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
1月	・北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 ・北日本太平洋側では、低気圧の影響を受けやすいので、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 ・東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 ・西日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいので、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 ・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 ・沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
2月	・北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 ・東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 ・北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 ・沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん}神田:TEL.082-846-4708

営農支援情報

「令和2年度JAグループ担い手アグリサミット」開催!!

令和2年10月28日・29日の2日間、JA西日本営農技術センター(東広島市河内町入野)で、「JAグループ担い手アグリサミット」を開催(共催:JA全農中四国営農資材事業所)しました。中国四国地方の担い手農業者の経営に役立てていただくため、農業の最新技術や情報を発信しました。

5回目となる今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者を600人程度に絞っての開催となりましたが、様々な実演会やセミナー、展示が行われました。

当日の様子は、JA全農ひろしまのHPで公開していますのでご覧ください。(詳しくは10ページに掲載)

【実演会】

実演会では、ドローンのデモフライトやラジコン草刈り機の実演など、作業省力化技術を紹介しました。

ほうれんそうの機械化一貫体系の紹介では、ほうれんそう播種機や収穫機械、調整作業用の機械の実演が行われ、多くの生産者で実演会場は賑わいました。

来年、小松菜を主品目に就農予定の来場者は、「収穫機は省力化につながると感じ、将来的には導入も検討したい」と話していました。

ラジコン草刈り機の実演では、4機紹介され、来場された生産者やJAから、圃場周辺での実演会の開催などの依頼もあるなど、生産者の関心度が高いことが分かりました。



実演会 テーマ一覧

- ①ほうれんそう収穫機械・播種機や、調整作業用機械の実演
- ②ラジコン草刈機の実演
- ③ドローンデモフライト
- ④見て触れて知る!土壌の物理性の説明

【セミナー】

セミナーでは、水稻栽培で使用する肥料や農薬情報、水稻技術、スマート農業に向けた取り組み紹介、野菜の生産・消費動向等様々なテーマでセミナーが行われました。中でも、本年度、多くの被害をもたらしたトビイロウンカについてのセミナーでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、



座席数は減らしていたものの、立ち見や別会場に設けられたライブ配信ブースにも多数の来場者がありました。

セミナー テーマ一覧	
① これで解決!! 水田主要雑草対策	⑦ 3-Rブランドの取り組みについて
② トビイロウンカによる被害を防ぐために	⑧ 業務用実需者向け契約栽培の取り組みについて
③ 水稲の密播疎植栽培技術	⑨ 和牛TMRについて
④ アスパラガス 環境制御で大幅増収を目指す!	⑩ 共同購入トラクターについて
⑤ 野菜の生産・消費動向と全農が取り組む注目技術	⑪ 土壌診断結果をふまえた水稲収量向上対策について
⑥ イチゴ ハダニゼロプロジェクト	⑫ Z-GISを核としたスマート農業

【展示ブース】

全26ブースが連ねた展示ブースコーナーでは、鳥獣害対策や省力化・効率化対策資材、肥料農薬資材、販売対策など様々な取り組みを紹介しました。鳥獣害対策コーナーでは、来場者がエアガンの試打や遠隔操作檻の説明を受けるなど多くの生産者で賑わっていました。



スマート農業に向けた最新の機器が並んだ農業機械ブースでは、ドローンやラジコン草刈り機の他、直進自動トラクタ・田植機のほか全農が取り組む共同購入トラクタ、レンタル機材等が並びました。



◆展示ブース

展示ブース名	主な内容
① 耕畜連携	鶏糞を活用した水稲栽培の取り組み
② 米の集荷・販売PR	米穀部の集荷・販売に関する取り組み紹介
③ 稲作のお悩み相談	稲作生産者の課題・要望に応じた他ブース等の紹介
④ 全農による水稲契約栽培	生産者と実需者とを結ぶ取り組み
⑤ 肥料農薬イチオン情報	低コスト肥料農薬（銘柄集約・担い手直送企画）
⑥ 土壌診断・マイブレンド肥料	地域別・作物別の土壌診断結果の傾向
⑦ 水田病虫害対策	今年問題となった病虫害対策

展示ブース名	主な内容
⑧ 水田雑草・畦畔対策	水田雑草・畦畔雑草の対策と防除剤
⑨ 水稲収量向上対策	稲刈り後の雑草対策・土づくり(石灰窒素・アグリ革命)
⑩ ドローン・省力化技術	ドローンの展示、ドローンで利用できる肥料・農薬
⑪ ICT技術	Z-BFM、Z-GIS(天晴れ・ザルビオ連携含)、アピネス、自動水門(農匠、アクアポート)パディウォッチ、センシング等
⑫ 園芸機械化体系紹介	機械化体系が確立されている機械の展示、枝豆機械化体系紹介
⑬ 炭酸ガス発生装置環境制御機器	LPガス炭酸ガス発生器、ガス発電機、ヒートポンプ、はかる蔵、うご蔵
⑭ 園芸肥料・農薬紹介	園芸作物に使用できる新農薬、天敵農薬、土壌消毒、液肥
⑮ 生産・出荷資材	出荷袋、マルチ、リースコンテナ、低コストハウス、ハウスフィルム
⑯ 総合的病虫害管理(IPM)	バンカーシートを中心とした病虫害防除モデル
⑰ カッパ天国	低コスト・軽量カッパ
⑱ 中四国広域肥料事業	土づくり運動の取り組み、各県の肥料の紹介、ブロードキャスタ
⑲ 全農が取り組む栽培技術開発	全農式点滴灌水キット、スマートみどりくん、タマネギ直播、大玉ブロッコリー、端境キャベツ
⑳ 鳥獣害対策	電柵、遠隔操作檻
㉑ 和牛専用TMR	TMR給与による利便性紹介、サンプル
㉒ 免税軽油 JA-OIL	免税軽油制度、JA-OIL利用によるコスト低減
㉓ JAグループ担い手経営相談	中央会・信連・共済連による商品紹介・経営相談
㉔ 作業効率向上	骨盤ベルト、機能性ウェア
㉕ アシストスーツ展示会	アシストスーツ(5社)の装着・体験
㉖ 農業機械	スマート農業に係る農業機器、レンタル農機

感染予防対策にご協力いただき、無事開催することができました。
誠にありがとうございました。

★★★JAグループ担い手アグリサミットの内容を動画で公開しています!★★★

- ◎公開場所:JA全農ひろしまホームページ(バナー掲載)
- ◎URL :<https://www.jazhr.jp> (全農ひろしまホームページ)
※全農ひろしまホームページ内のバナーは、「営農情報」内にあります。
<https://www.jazhr.jp/agrisummit2020/>
(アグリサミットページ)
- ◎ID :zennoh
- ◎パスワード:Agri2020\$ (頭のAは大文字で、その他は全て小文字です)



アグリサミットページQRコード

〈お問合せ先〉営農支援課 ^{ひろおか} 平岡:TEL.082-846-4706

肥料・農薬情報

水稲栽培における課題解決に向けて～担い手アグリサミットで情報発信～

令和2年10月に実施した「JAグループ担い手アグリサミット」で、令和2年産で問題となった水田病害虫・雑草対策や生産資材コスト低減等に関する情報発信を行いました。今年はコロナ禍での開催となり、来場制限を行ったことから来場いただけなかった方への対応として、一部内容をご紹介します。なお、JAグループ担い手アグリサミットの『実演会』『セミナー』『展示ブース』の動画をインターネット上で公開していますので、併せてそちらをご覧ください。

(1) トビイロウンカによる被害を防ぐために

令和2年産の水稲栽培では「トビイロウンカ」の飛来量が多く、収穫前に坪枯れ(写真のとおり)被害が発生した圃場が多くみられました。「トビイロウンカ」は、海外から飛来し圃場の中で世代交代をしながら増殖をします。

対策として、①田植時に効果のある「箱処理剤」を使用し、飛来してきたトビイロウンカを増やさない。②出穂前・後の2回防除を適期に行う。ことです。下記の薬剤を有効に使用し、次年産で被害を出さないようにしましょう。



令和2年広島県内のトビイロウンカ被害(坪枯れ)があった圃場

〈箱処理剤〉

ウンカ類対策におすすめの箱処理剤はこれ!

【ピラキサイト(一般名:トリフルメゾピルム)含有箱処理剤】



さきもり

防人箱粒剤



フルスロトル箱粒剤



スクラム箱粒剤

薬剤名	製品規格	いもち病	紋枯病	ウンカ類	初期害虫 チョウ目害虫
防人(さきもり)箱粒剤	1kg・3kg・10kg・40kg	◎		◎	◎
フルスロトル箱粒剤	1kg・10kg・40kg	◎	◎	◎	◎
スクラム箱粒剤	1kg・10kg・40kg	◎	◎	◎	◎

※40kg(20kg×2袋)規格の購入は、事前の予約申込みが必要です。希望される場合は、お近くのJAへご相談ください。

出穂期防除

防除薬剤や防除時期の詳細については、お近くのJA栽培語読みなどでご確認ください。

【代表的な薬剤】

出穂前(穂ばらみ期)

防除時期:出穂7日～10日前

★粉剤★

ビームバシボン粉剤DL

ノンブラストレバリダ粉剤DL など

★粒剤★

ゴウケツモンスター粒剤

イモチエーススタークル粒剤 など

★液剤★

アミスタートレボンSE

ノンプラスバリダダントツフロアブル など

出穂後(穂ぞろい期)

防除時期:70%～80%出穂頃

★粉剤★

ラブサイドスタークル粉剤DL

ビームスタークル粉剤5DL など

★粒剤★

スタークル粒剤・豆つぶ250 など

★液剤★

ダブルカットスタークルフロアブル など

※詳しくは、「JAグループ担い手アグリサミット」公開動画のなかのセミナー「トビイロウンカによる被害を防ぐために」をご覧ください。

(2)さらなる肥料コスト低減にチャレンジ!銘柄集約による新たな共同購入

肥料コスト低減に向けて、JAグループでは銘柄集約と数量結集に取り組んでいます。(新たな共同購入運動の実践)

第3段として水稲基肥一発肥料について取り組んでいます。これまで県内各JA管内の圃場で複数年現地試験を実施し、既存の一発肥料と同等の結果(収量・品質など)を確認したため、令和2年産から「早生い～ね755」「中生い～ね755」「中生い～ね502」に集約を開始しました。

使用された生産者の方からは「銘柄集約の取り組みに賛同して使用したところ生育も順調だった。」「価格が魅力で購入して使用した。15kg袋の取り扱いが楽でよかった。」「粒形も揃っていて使いやすかった。」等と高い評価をいただいています。

取り扱い銘柄については、お近くのJAで確認ください。



コシヒカリ・ひとめぼれ等の 早生品種向け



ヒノヒカリ、あきろまん、 恋の予感等の中生品種向け



※「JAグループ担い手アグリサミット」公開動画のなかの展示ブース「肥料農薬イチオン情報(低コスト肥料農薬銘柄集約担い手直送規格)」で紹介しています。

「JAグループ担い手アグリサミット」で、肥料農薬に係る様々な情報発信を行いました。多くの来場者が関心を持たれた内容は、今回ご紹介した内容の他「水田雑草対策」や「土壌診断結果を踏まえた水稲収量向上対策」でした。

関係する内容の動画を下記のアドレスに公開しています。ぜひ一度内容をご覧ください、ご参考ください。

JAグループ担い手アグリサミット 動画公開 について

◎公開場所:JA全農ひろしまホームページ(バナー掲載)

◎URL: <https://www.jazhr.jp> (全農ひろしまホームページ)

※全農ひろしまホームページ内のバナーは、「営農情報」内にあります。

<https://www.jazhr.jp/agrisummit2020/> (アグリサミットページ)

◎ID:zennoh

◎パスワード:Agri2020\$ (頭のAは大文字で、その他は全て小文字です)



アグリサミットページQRコード

〈お問合せ先〉肥料農薬課／豊田:TEL.082-846-4705



農業機械情報

共同購入トラクタの取り組みについて

(1) 第2弾共同購入トラクタ発売のお知らせ

新型コロナウイルスの影響により発表を延期しておりました第2弾共同購入トラクタ(中型)について、10月にメーカー・型式等を発表し販売受付を開始しました。(メーカー:株式会社クボタ、基本型式:SL33L(33馬力))

生産者&JA 全国一万人以上の声を反映

価格を安く

必要な機能を厳選

快適・安全な作業性

様々な作業への汎用性

生産者の営農規模と栽培品目の拡大を支援する

共同購入トラクター

基本型式

SL33L

中型

クラス

(ネット値)

33馬力

型式

SL33LFQMAEP

キャビン仕様

メーカー希望小売価格 **359.7万円** (税別)

型式

SL33LFMAEP

ロプス仕様

メーカー希望小売価格 **285万円** (税別)

型式

SL33LFQMAEPC2P

半クローラ・キャビン仕様

メーカー希望小売価格 **412.4万円** (税別)

標準ロータリーセット型式(オートヒッチはW3P装備で、標準3点リンクのワンタッチ着脱可能)、ハイスピード仕様、小径タイヤ仕様(ハウス内作業に対応)など、オプションは裏面へ!

製品紹介動画はこちら
(YouTube)



JAグループは生産者の需要を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元します。

販売価格は標準的な同クラスのトラクタと比較して、おおむね2割程度の価格の引き下げを実現しています。

販売受付は、令和2年10月から令和5年3月(予定)の期間限定となります。

おかげをもちまして、すでに多数の問合せをいただいております。

ご興味ある方は、最寄りのJA農機センターまでお問い合わせください。

〈お問合せ先〉農業機械課／^{くにひろ}国弘:TEL.0824-62-3103

共同購入トラクター(中型)の主な機能



大容量48L燃料タンク
概ね1日無給油での作業が可能

- 標準3点リンクのオートヒッチが装着可能
※オートヒッチはW3P装備で、標準3点リンクのワンタッチ着脱
- 自動水平制御
- 自動耕深制御
- 倍速ターン
- オートブレーキ
- バックアップ

ノークラッチ変速
ノークラッチで増減速、前後進切替が可能

主要諸元表(キャビン・標準速・ホイール仕様)

型 式	SL33LFQMAEP クボタ
駆動方式	パートタイム4WD
全長(mm)全幅(mm)全高(mm)	3,190×1,445×2,185
地上最低高(mm)	330
機体質量(kg)	1,608
型式名	D1803-CR-E4
種類	水冷4サイクル3気筒立形ディーゼル
出力(PS/rpm)・総排気量(L)	33/2,600(ネット)・1,826
燃料タンク容量(L)	48
その他	国内特自排ガス4次規制適合
タイヤ	前輪:8-16 後輪:13.6-24
軸距(mm)	1,745
輪距(mm)	前輪:1,130 後輪:1,110~1,330
変速方式	Uシフト/リシタル
変速段数(段)	前進24段、後進16段 (H仕様:前進30段、後進20段)
走行速度(Km/h)	標準仕様
	前進:0.18~14.65
	後進:0.19~13.13
最小旋回半径(m)	ハイスピード仕様
	前進:0.18~29.75
	後進:0.19~26.66
PTO 回転速度(rpm)	正転549、775、960、1,280 逆転960
けん引装置	固定式(OP)
制御方式	ポジションコントロール
装着方式	3点リンクJIS1形
油圧揚力(kgf)	1,475

主な設定型式

仕 様	型 式	小売価格(税別)
標準速仕様	標準タイヤ	SL33LFMAEP 2,850,000
		SL33LFMAEWF7 3,379,000
		SL33LFMAEWF8 3,424,000
		SL33LFMAEWF9 3,481,000
	キャビン	SL33LFQMAEP 3,597,000
		SL33LFQMAEWF7 4,126,000
		SL33LFQMAEWF8 4,171,000
		SL33LFQMAEWF9 4,228,000
	半クローラ	SL33LFMAEPC2P 3,377,000
		SL33LFMAEPC2WF8 3,951,000
ハイスピード仕様	標準タイヤ	SL33LFMAEPC2WF9 4,008,000
		SL33LFQMAEPC2P 4,124,000
	キャビン	SL33LFQMAEPC2WF8 4,698,000
		SL33LFQMAEPC2WF9 4,755,000
	小径タイヤ	SL33LFMAEVP 2,850,000
		SL33LFHMAEP 2,935,000
	ロプス	SL33LFHMAEWF7 3,464,000
		SL33LFHMAEWF8 3,509,000
		SL33LFHMAEWF9 3,566,000
	標準タイヤ	SL33LFQMAEP 3,788,000
半クローラ仕様	キャビン	SL33LFQMAEWF7 4,317,000
		SL33LFQMAEWF8 4,362,000
		SL33LFQMAEWF9 4,419,000
		SL33LFHMAEPC2P 3,568,000
	ロプス	SL33LFHMAEPC2WF8 4,142,000
		SL33LFHMAEPC2WF9 4,199,000
	半クローラ	SL33LFHMAEPC2P 4,315,000
		SL33LFHMAEPC2WF8 4,889,000
	キャビン	SL33LFHMAEPC2WF9 4,946,000
	小径タイヤ	SL33LFHMAEVP 2,935,000

型式説明:型式末尾P…トラクター単体
型式末尾WF7…1.7mロータリー付
型式末尾WF8…1.8mロータリー付
型式末尾WF9…1.9mロータリー付
※ロータリーに関しては、キヤスタ仕様、Vカット仕様、尾輪付仕様などの設定があります。

JAグループからのお願い
[お問い合わせは最寄りのJAまで]

ご注文いただいたから納品まで**3ヶ月**かかります。
令和5年3月までにご注文をお願いします